

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 鳥取県立倉吉東高等学校

重点項目	英語教育	提出日	令和4年4月19日
------	------	-----	-----------

1 学校目標	
「倉吉東高のかたち」の理想に沿った様々な教育活動を充実発展させるとともに、主体的な学習者・21世紀の日本を支え、世界をリードする高い志を持った人材の育成をめざす。	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試改革に向けて先進的な取組みを研究するとともに、科学的根拠に基づいた英語教育法の実践研究を行い、授業改革を推し進める。 ・探究活動成果発表会、グローバル人材育成事業、倉東 English projects、世界で活躍するプロフェッショナルによるミニレクチャー等の特色ある取組みを実施し、意欲ある生徒の英語力を更に伸ばす取組みを組織的に行う。 <p><数値目標> 進研模試英語目標偏差値</p> <p>1年 7月 58 11月 59 1月 60 2年 7月 60 11月 59 1月 59 2月マーク 59 3年 6月マーク 57 7月記述 56 9月マーク 55 10月記述 55 11月マーク 56</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、実施できなかった取組が多かったが、できる限りの事業を実施した。</p> <p>数値結果については各学年とも目標値を達成できなかった。しかし、1・2年生については、最終の模試の結果から、学力の改善が進んでいる様子が見えてきた。</p> <p><数値結果> 進研模試英語目標偏差値</p> <p>1年 7月 51.1 11月 52.0 1月 54.0 2年 7月 55.3 11月 55.5 1月 54.7 2月マーク 57.1 3年 6月マーク 53.7 7月記述 50.6 9月マーク 51.3 10月記述 48.3 11月マーク 51.5</p>
3 実施事業	
<p>【高等学校課事業】</p> <p>■鳥取県版キャリア教育推進事業「ようこそ高校へ」版キャリア塾 文理選択とキャリア形成（1年生10月20日実施）、学部学科研究と進路選択（2年生5月26日実施）のそれぞれについて、有識者や大学職員を招いて講演を行った。普段は触れることのない現在の社会の状況や大学の具体的な情報が生徒に伝わり、生徒の新たな目標設定や学習への動機づけに強い影響を与えた。</p> <p>【独自事業】</p> <p>■探究活動推進事業 昨年度同様、1月26日（水）開催の探究学習成果発表会に向けて、韓国安養高校、シンガポールセントジョセフ高校、台湾桃園高校の生徒と Zoom を通して英語で探究活動を6月から月1回程度行った。生徒の英語運用能力の向上が認められた。</p> <p>■学力向上推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科指導先進校視察 12月3日（水）岡山理科大学附属高等学校を訪問し、国際バカロレア教育の先進的な取組を学び、授業改善に生かした。 	

■僕ら欲ばり！Glocally 体験事業

・海外研修旅行

新型コロナウイルスのため実施できず、1泊2日の県内研修に変更した。

・倉東 English projects

3月15日(水)にみささえいご工房、北岡智子氏の講演を行った。生徒を交えた同時通訳の実践や国際共通語としての英語の重要性や効果的な英語学習法などを教授いただいた。多くの生徒にとって、英語を使うキャリア形成のイメージが具体化されるとともに、英語学習への動機づけとなった。1年生 Speech Contest等は新型コロナウイルスのため実施できず、ALTによるインタビューテストで対応した。

4 総合所見(成果・評価)

探究活動では海外の高校生と英語を通じて定期的に交流を行った。その中で英語の有用性を実感するとともに、異なる母語を持つ生徒とやり取りをすることにより英語の多様性にも気づくことができた。また、北岡氏の講演では、英語を使って仕事することの面白さを味わい、英語学習や英語使用への意欲を喚起された生徒が多数見られ、今後の英語力向上が期待された。Chromebookの1年生への先行導入もあり、英語教員もICTを活用した公開授業の実施や県内外の研究に参加し、生徒の英語を通しての思考力・表現力を高める指導方法に取り組んできた。様々な活動を通じて、生徒の英語学習への動機づけが強化されている。一例ではあるが、外部試験への挑戦者も増加傾向にあり、2年次までの英検準1級取得者が5人に増えた。

※枚数任意